

本庄市 予算

予算総額

498億6,228万円

(前年度と比べ、9,723万円増)

内訳

- ▶一般会計 283億1,300万円
- ▶特別会計 150億7,572万円
- ▶公営企業会計 64億7,356万円

会計別予算

区分	予算額	増減率
一般会計	283億1,300万円	△1.1%
特別会計	国民健康保険特別会計	79億2,226万円 2.1%
	介護保険特別会計	62億5,374万円 4.0%
	後期高齢者医療特別会計	8億9,972万円 2.7%
公営企業会計	水道事業会計	25億2,754万円 △4.9%
	下水道事業会計	39億4,602万円 3.3%
合計	498億6,228万円	0.2%

※公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計）の予算額は、収益的支出額及び資本的支出額の合計額を記載しています。

市民1人当たりが負担する市税

13万4,202円

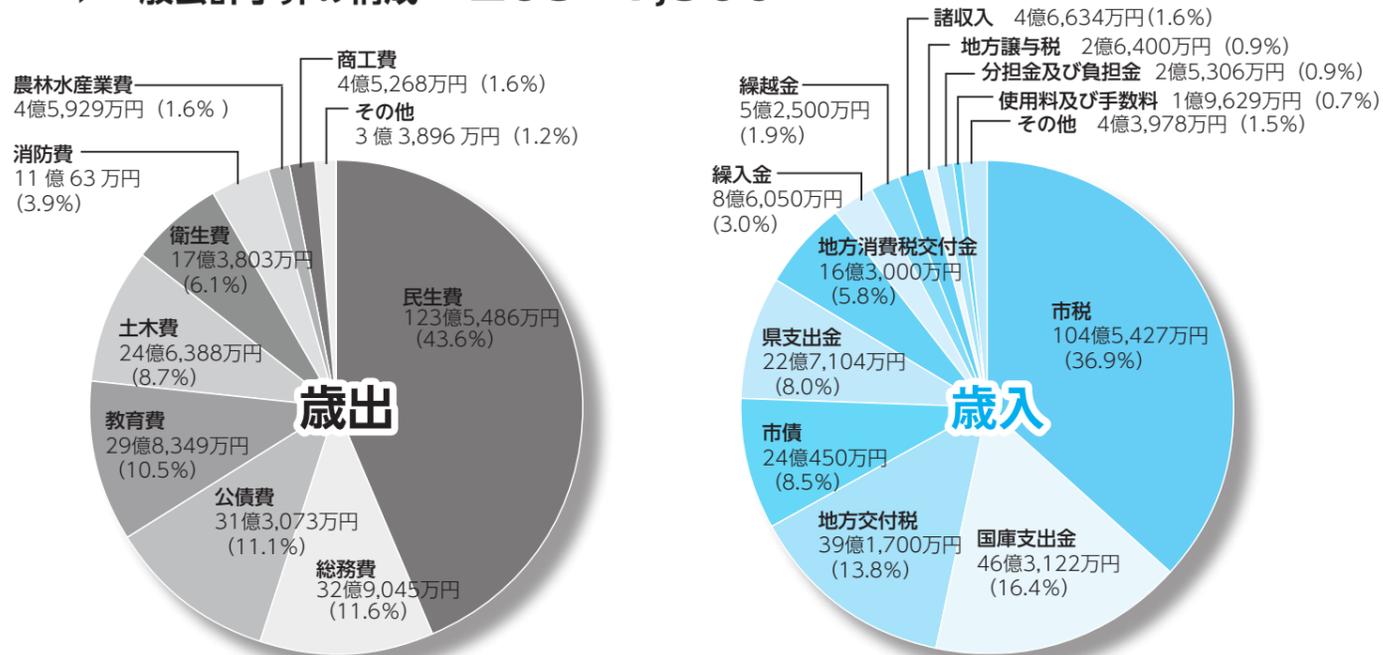
市民税	5万3,191円	市たばこ税	7,007円
固定資産税	6万2,521円	軽自動車税	3,188円
都市計画税	8,295円		

市民1人当たりに使われるお金

36万3,453円

民生費	15万8,599円	衛生費	2万2,311円
総務費	4万2,239円	消防費	1万4,129円
公債費	4万 189円	農林水産業費	5,896円
教育費	3万8,299円	商工費	5,811円
土木費	3万1,629円	その他	4,351円

▶一般会計予算の構成 283億1,300万円



※構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

本庄市 施政方針

本年は、靖保己一没後200周年を迎える記念の年であります。7月には、昨年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が予定されています。皆さまが、共生社会や多様性への理解をさらに深める契機となるよう、さまざまな事業を展開してまいります。さらに、総合振興計画の施策の進捗を適切に踏まえつつ、医療・福祉・介護の充実、次代を担う人材の育成、地域の活性化、環境、防災等の諸課題にも的確に対応してまいります。「世のため、後のため」、足元を見つめながら、これまでの取組にさらなるチャレンジを重ね、市政の進展に全力を尽くしてまいりますので、皆さま

の「一層のご支援とご協力を賜りたいと存じます。」

行政経営に関する基本的考え方

行政の業務や市民サービスにおいて、デジタル化の一層の促進を図るとともに、コロナ禍で今後の財政事情が不透明となる中、「入るを回り、出ずるも図る」、財政好転に向けた財源の確保や事業の見直しを進めてまいります。SDGsの理念である経済・社会・環境の各分野での持続可能な取組を市民協働により推進し、次の時代につながるまちの実現に向けた施策を展開してまいります。

本年は、「心して」をテーマとして、コロナ禍に向き合

い、皆さまの安全安心を確保するとともに、喫緊の課題に対応し、着実に市政進展に取り組んでまいります。次の時代を見据えた魅力あるまちとなるよう、行政経営を「心して」進めてまいります。

予算編成の基本的考え方

本市の財政状況は、歳入の根幹をなす市税において、新型コロナウイルス感染症の影響等に伴う景気の低迷により、個人市民税や法人市民税など大幅な減少が見込まれます。また、少子高齢化による社会保障関連経費の増加、公設施設の維持補修経費を考慮すると、本市を取り巻く財政状況は厳しいものであると予

想されます。

今般の予算編成では、将来の負担を可能な限り軽減しつつ、「総合振興計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策を効果的に取り組むとともに分野横断的かつ優先的・重点的に取り組む「6つの重点施策」を掲げました。また、新型コロナウイルス感染症対策には、感染予防の経費を中心に計上し、状況により、迅速かつ適切な手段をとれるよう財政調整基金を財源にして躊躇なく対策を実施してまいります。

本庄市長 吉田信解

